

令和 3 年度 事業計画

(概要)

令和 3 年度の事業計画は、前年度比 759 万円増の 2,926 万円としました。2,926 万円の内訳は、各種助成金が 2,050 万円、患者調査費が 300 万円、事業に関わる費用が 576 万円となります。助成金の内訳は、呼吸器疾患の疫学調査、病態解明や予防法、治療法の開発などの多施設グループ研究に助成する研究助成金が 1,000 万円、現在大きな社会問題となっている COVID-19 制圧の為の研究助成金が 800 万円、「呼吸の日(5 月 9 日)」、「肺の日(8 月 1 日)」に日本呼吸器学会が全国 8 カ所で開催する市民公開講座と GOLD 日本委員会が開催する「日本 COPD サミット」に共催する市民講座助成金が 200 万円、キャスルマン病患者会、再発性多発軟骨炎患者会などの患者団体に対する助成金が 50 万円、また、日本呼吸器学会肺生理専門委員会の「呼吸不全に関する在宅ケア白書」作成 WG、呼吸器疾患患者団体連合会との連携で作成する在宅呼吸ケア白書の患者調査費用として 300 万円を計画しました。その他事業に関わる費用として、例年の実績ベースを参考に 576 万円を事業運営費用として計画しました。

以上により、令和 3 年度は 2,926 万円の事業計画を立案致しました。

(内容)

摘 要	金 額	備 考
1.研究助成	1,000 万円	呼吸器疾患に関する多施設共同研究に対する研究助成
2.COVID 研究助成	800 万円	COVID-19 制圧の為の研究助成に対する研究助成
3.市民講座助成	200 万円	「呼吸の日」、「肺の日」の市民講座 日本呼吸器学会の北海道、東北、関東、北陸 東海、近畿、中国・四国、九州支部 「日本 COPD サミット」の市民講座
4.患者団体助成	50 万円	キャスルマン病患者会、ポリオの会 再発性多発軟骨炎患者会、北海道低肺の会 J-LAM の会
5.患者調査	300 万円	在宅呼吸ケア白書の患者調査費
6.事業運営費用	576 万円	事業運営に関わる諸費用
	2,926 万円	